

個別注記表

会津コスモス電機株式会社

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 資産の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等以外のもの

時価法

(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品 総平均法

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物及び構築物 6～38年

機械装置及び運搬具 5～10年

無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。

リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零として算定する定額法によっております。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員賞与の支払いに充てるため、賞与支給規定に基づき支給見込額の当事業年度負担額を基準として計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規を基礎として算定された連結会計年度末の支給見積額を計上しております。

(5) 収益及び費用の計上基準

約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

なお、出荷時から製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には出荷時点において収益を認識しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 関係会社に対する金銭債権 短期金銭債権 288,809 千円

3. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

(単位 千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額 (注5)	取引により発生した債権又は債務	
						科目	当該事業年度末における残高(注5)
親会社	東京コスモス電機㈱	(被所有) 直接 100.00%	親会社製品の製造 資金の借入 債務保証 役員の兼任	原材料の購入(注1)	1,860,392	買掛金	575,044
				原材料の販売(注1)	2,018,320	売掛金	288,809
				製品の受託加工(注2)	842,477		
				資金の返済	120,000	短期借入金	70,000
				利息の支払(注3)	878		
				債務保証(注4)	689,710		

(注1) 原材料の購入及び販売については、市場の実勢価格を勘案し、価格を決定しております。

(注2) 製品の受託加工については、市場の実勢価格を勘案し、価格を決定しております。

(注3) 借入金利息については、市場金利を勘案し、決定しております。

(注4) 債務保証は、取引金融機関からの借入れに対して親会社が保証したものであります。

(注5) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

4. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 549円49銭

(2) 1株当たり当期純利益 209円54銭

5. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。

6. 当期純損益金額

当期純利益 80,463千円